

事業計画書(実績書)

2021年11月29日

団体名：サロンなかよし

事業の目的	コロナ禍でマスク装着が義務付けられ、相手の口元や表情が見えない状況が継続しています。聴覚障害がある市民はもちろんのこと、社会全般に生きづらさが蔓延しています。「きこえの健康」を学び合う場を設け、耳の仕組みや役割その機能など基本的な知識を学ぶ機会を市民の皆様に広く提供します。具体的には口元が見え表情がわかる「透明マスク講座」を通して、『手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例』の具体的な普及に繋げていきます。
事業の名称	あきらめないコミュニケーションの普及と透明マスク作り
事業費 (市補助金)	80,489円 (80,000円)
補助金の使途	・材料費 ・会場使用料・要約筆記者派遣費用 ・案内チラシや耳の話配布資料印刷費等
事業の実施期日	①2021年8月20日 ②10月8日 ③11月12日
事業の実施場所	①綾部市ものづくり交流館 ②あやべ・日東精工アリーナ研修室 ③綾部市林業センター大会議室
事業の概要	①透明マスクづくり タイロンシートを型紙通りに切り取り、線に沿って鉄をいれた二ヶ所を交差して貼り合わせ立体化。パンチで左右一ヶ所に穴をあけ、ゴムを通して完成。②完成した透明マスクを着用し、つけ心地などの感想を出し合い、意見交換。「なぜ透明マスクが必要なのか」を、聞こえない人の立場から話を聞いていただく。③DVD「知ってください耳のこと(26分間)」のインタビュー「耳鼻咽喉科補聴器医」と「当事者」の話(10分間)を鑑賞。④クイズ3問を通して、みんなで選択式の答えを出しあう中で、自身の聴力に関心をもってもらい、聴力測定について理解を高めていただく。また、対話のポイントは、「ゆっくり、はっきり、口元をみせて話す」ことが大事であることや聞こえにくくなったら補聴器をかけるが、耳にも眼鏡と同じように処方箋とリハビリが必要なこと等を共有していただく。⑤透明マスクを時と場所を選んで積極的に使っていただくこと、皆さんが開催されているサロン活動の中で普及していただくことをお願いして、終了。参加人数、58人(①22人②19人③17人)
補助金の効果(成果)	①透明マスクの付け心地のよさを実感してもらう中、相手の表情が見えることで、より会話がしやすいことを理解していただいています。聞こえない人だけではなく聞こえる人にとっても、効果的であると理解を深めていただきました。コーラス、読み聞かせなどの団体やサロンでも使いたいとの意見が出され、実際に作成し普及していただいています。②コロナ禍で閉じこもりがちな憂鬱な部分を、透明マスクをつけることで開かれたコミュニケーションを体感していただき、元気になってもらえました。③耳のことを学習することと合わせて、開催しているので気づきや学びがあったと喜んでもらっています。④この取り組みにおいて、どの日程も保健福祉センターの会場(無料)が使えず、やむを得ず高額な会場を使うことになりました。補助金制度が無ければこの事業は、成し得なかったと実感しています。

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収支予算書（計算書）

2021年11月29日

団体名 サロンなかよし

（単位：円）

収入の部	区 分	予 算 額	収入済額	明 細
	市補助金	80,000	80,000	
	自己資金	0	489	
	合 計	80,000	80,489	
支出の部	区 分	予 算 額	支出済額	明 細
	透明マスク材料費	20,000	8,147	タイロンシート、ゴム紐、テープ類、はさみ
	筆談用品	16,800	1,787	油性ペン、要約筆記用ロール紙
	コロナ対策用品	10,000	0	
	印刷費	27,000	4,895	わいわいネットなかま
	予備費	6,200	9,660	郵送料 84 円×115 通
	会場使用料	0	20,000	綾部市ものづくり交流館 11,700 あやべ・日東精工アリーナ研修室 5,100 綾部市林業センター大会議室 3,200
	要約筆記者派遣費	0	36,000	1 時間 1,600 円×2.5 時間×3 名×3 回
	合 計	80,000	80,489	
	差 引	0	0	